

## 令和6年度病害虫発生予報第10号（2月予報）概要表

令和7年1月27日  
埼玉県病害虫防除所

| 作物名・病害虫名            | 予報内容 |     |
|---------------------|------|-----|
|                     | 発生時期 | 発生量 |
| <u>1 トマト（冬春栽培）</u>  |      |     |
| （1）灰色かび病            |      | 並   |
| （2）葉かび病             |      | 並   |
| （3）黄化葉巻病            |      | やや多 |
| （4）コナジラミ類           |      | 多   |
| <u>2 きゅうり（冬春栽培）</u> |      |     |
| （1）べと病              |      | 並   |
| （2）うどんこ病            |      | 並   |
| （3）灰色かび病            |      | 並   |
| （4）アザミウマ類           |      | 並*  |
| （5）コナジラミ類           |      | 並*  |
| <u>3 いちご（本ぼ）</u>    |      |     |
| （1）灰色かび病            |      | 並   |
| （2）うどんこ病            |      | 並   |
| （3）アザミウマ類           |      | 多   |
| （4）ハダニ類             |      | 並   |

### 表の見方について

- ・ 予報の発生量は、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「少、やや少、並、やや多、多」の5段階で示しています。
- ※ 過去10年間で予報月に発生が確認されていない病害虫については、「発生が見られない」と予想した場合、予報の発生量を「並\*」と示しています。
- ・ 予報の発生時期は、時期の予想ができる病害虫に限り、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「早、やや早、並、やや遅、遅」の5段階で示しています。

令和6年度病害虫発生予報第10号（2月予報）

令和7年1月27日  
埼玉県病害虫防除所

1 トマト（冬春栽培）

| 病害虫名  | 発生予想<br>(発生量) | 予報の根拠                                    | 防除上注意すべき事項  |
|---|---------------|--|---|
| 灰色かび病   | 並             | ○1月中旬の発生量：散見<br>□気象予報：気温は高い、降水量はほぼ平年並（±） | ・多湿により発生が助長されるため、温湿度管理に注意する。<br>・「病害虫診断のポイントと防除対策」（ <a href="#">参照1</a> ）を参考に防除対策を実施する。 |
| 葉かび病  | 並             | ○1月中旬の発生量：散見<br>□気象予報：気温は高い、降水量はほぼ平年並（±） | ・多湿により発生が助長されるため、温湿度管理に注意する。  |
| 黄化葉巻病   | やや多           | ○1月中旬の発生量：並<br>□1月中旬のコナジラミ類の発生量：多（+）     | ・「病害虫診断のポイントと防除対策」（ <a href="#">参照1</a> ）を参考に防除対策を実施する。                                 |
| コナジラミ類  | 多             | ○1月中旬の発生量：多<br>□気象予報：気温は高い（+）            | ・本虫は黄化葉巻病を伝搬するため、防除対策を実施する。   |
| <p><b>【共通注意事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期発見に努め、発生を確認したら速やかに薬剤による防除を実施する。</li> <li>・薬剤防除の際は、耐性菌・抵抗性害虫の発現を避けるため、作用機構が同じ剤の連用を避ける。</li> <li>・マルハナバチ等に影響があると考えられる薬剤は、使用時期に十分注意する。</li> </ul> |               |  |   |

参照1：病害虫診断のポイントと防除対策 <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0916/point-h27kai.html>

表の見方について

- ・ 予報の発生量は、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「少、やや少、並、やや多、多」の5段階で示しています。
- ・ **並\***： 予報月における発生が過去10年間で確認されていない病害虫について、「発生が見られない」と予想した場合、予報の発生量を「並\*」と示しています。
- ・ **多\*\*\***： 調査月における発生が過去10年間で確認されていない病害虫について、今回の調査時に発生があった場合、「多\*\*\*」と示しています。
- ・ 予報の発生時期は、時期の予想ができる病害虫に限り、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「早、やや早、並、やや遅、遅」の5段階で示しています。
- ・ 予報の根拠の○は現在の発生状況、■は今後の発生時期、□は今後の発生量に影響する要因を示し、（+）は助長または促進、（-）は抑制、（±）は傾向維持を意味します。

## 2 きゅうり（冬春栽培）

| 病虫害名  | 発生<br>予想<br>(発生量) | 予報の根拠                                    | 防除上注意すべき事項  |
|---|-------------------|--|---|
| べと病   | 並                 | ○1月中旬の発生量：散見<br>□気象予報：気温は高い、降水量はほぼ平常並（±） | ・多湿により発生が助長されるため、温湿度管理に注意する。<br>・「病虫害診断のポイントと防除対策」（ <a href="#">参照1</a> ）を参考に防除対策を実施する。 |
| うどんこ病   | 並                 | ○1月中旬の発生量：散見<br>□気象予報：気温は高い、降水量はほぼ平常並（±） | ・やや乾燥した条件により助長されるため、ハウス内の温湿度管理に注意する。<br>・草勢低下は発生を助長するため、適切な肥培管理を行う。                     |
| 灰色かび病   | 並                 | ○1月中旬の発生量：散見<br>□気象予報：気温は高い、降水量はほぼ平常並（±） | ・多湿により発生が助長されるため、温湿度管理に注意する。  |
| アザミウマ類  | 並*                | ○1月中旬の発生量：散見<br>□気象予報：気温は高い（+）           | ・本虫は黄化えそ病を伝搬するため、「病虫害診断のポイントと防除対策」（ <a href="#">参照1</a> ）を参考に防除対策を実施する。                 |
| コナジラミ類  | 並*                | ○1月中旬の発生量：散見<br>□気象予報：気温は高い（+）           | ・本虫は退緑黄化病を伝搬するため、「病虫害診断のポイントと防除対策」（ <a href="#">参照1</a> ）を参考に防除対策を実施する。                 |
| <p><b>【共通注意事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入苗の場合は、到着時に病虫害の発生を十分確認する。</li> <li>・早期発見に努め、発生を確認したら速やかに薬剤による防除を実施する。</li> <li>・薬剤防除の際は、耐性菌・抵抗性害虫の発現を避けるため、作用機構が同じ剤の連用を避ける。</li> <li>・生物農薬（天敵）を使用している場合は、悪影響がないよう薬剤の選択に注意する。</li> </ul> |                   |  |   |

参照1：病虫害診断のポイントと防除対策 <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0916/point-h27kai.html>

### 表の見方について

- ・予報の発生量は、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「少、やや少、並、やや多、多」の5段階で示しています。
- ・並\*：予報月における発生が過去10年間で確認されていない病虫害について、「発生が見られない」と予想した場合、予報の発生量を「並\*」と示しています。
- ・多\*\*\*：調査月における発生が過去10年間で確認されていない病虫害について、今回の調査時に発生があった場合、「多\*\*\*」と示しています。
- ・予報の発生時期は、時期の予想ができる病虫害に限り、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「早、やや早、並、やや遅、遅」の5段階で示しています。
- ・予報の根拠の○は現在の発生状況、■は今後の発生時期、□は今後の発生量に影響する要因を示し、（+）は助長または促進、（-）は抑制、（±）は傾向維持を意味します。

### 3 いちご（本ぼ）

| 病虫害名   | 発生<br>予想<br>(発生量) | 予報の根拠                                   | 防除上注意すべき事項                         |
|--|-------------------|---|------------------------------------|
| 灰色かび病  | 並                 | ○1月中旬の発生量：並<br>□気象予報：気温は高い、降水量はほぼ平年並（±） | ・多湿により発生が助長されるため、温湿度管理に注意する。       |
| うどんこ病  | 並                 | ○1月中旬の発生量：並<br>□気象予報：気温は高い、降水量はほぼ平年並（±） | ・草勢の衰えや茎葉の繁茂により助長されるため、適切な肥培管理を行う。 |
| アザミウマ類   | 多                 | ○1月中旬の発生量：多<br>□気象予報：気温は高い（+）           | ・粘着板等によるモニタリングを行い、早期発見・早期防除に努める。   |
| ハダニ類   | 並                 | ○1月中旬の発生量：並<br>□気象予報：気温は高い（+）           | ・気温上昇に伴い急増しやすいため、注意する。             |
| <b>【共通注意事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期発見に努め、発生を確認したら速やかに薬剤による防除を実施する。</li> <li>・薬剤防除の際は、耐性菌・抵抗性害虫の発生を防ぐため、作用機構が同じ剤の連用を避ける。</li> <li>・ミツバチ等に影響があると考えられる薬剤は、使用時期に十分注意する。</li> <li>・生物農薬（天敵）を使用している場合は、悪影響がないよう薬剤の選択に注意する。</li> </ul> |                   |   |                                    |

#### <農薬使用上の注意事項>

- 1 農薬は、ラベルの記載内容を必ず守って使用する。
- 2 剤の使用回数、成分毎の総使用回数、使用量及び希釈倍数は使用の都度、確認する。  
特に、蚕や魚に対して影響の強い農薬など、使用上注意を要する薬剤を用いる場合は、周辺への危被害防止対策に万全を期すること。
- 3 農薬を散布するときは、農薬が周辺に飛散しないよう注意する。
- 4 スピードスプレーヤを使用した防除ではドリフトが発生しやすいので、風のない日に適正な方法で散布する。
- 5 周辺の住民に配慮し、農薬使用の前に周知徹底する。
- 6 農薬の最新情報は、農薬登録情報提供システム（農林水産省）から検索できます。  
農薬登録情報提供システム（農林水産省） <https://pesticide.maff.go.jp/>

#### 表の見方について

- ・ 予報の発生量は、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「少、やや少、並、やや多、多」の5段階で示しています。
- ・ **並\***： 予報月における発生が過去10年間で確認されていない病虫害について、「発生が見られない」と予想した場合、予報の発生量を「並\*」と示しています。
- ・ **多\*\***： 調査月における発生が過去10年間で確認されていない病虫害について、今回の調査時に発生があった場合、「多\*\*」と示しています。
- ・ 予報の発生時期は、時期の予想ができる病虫害に限り、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「早、やや早、並、やや遅、遅」の5段階で示しています。
- ・ 予報の根拠の○は現在の発生状況、■は今後の発生時期、□は今後の発生量に影響する要因を示し、（+）は助長または促進、（-）は抑制、（±）は傾向維持を意味します。

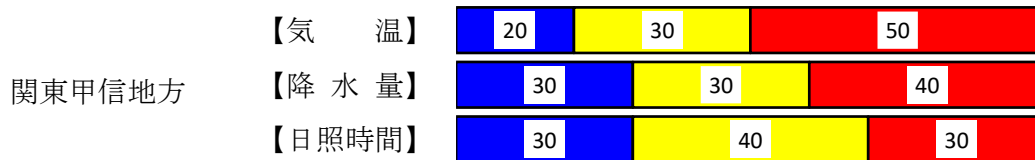
(参考) 気象概要 1 か月予報 (令和7年1月23日発表)

出典：気象庁ホームページ ([https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/103\\_00.html](https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/103_00.html))

<予報のポイント>

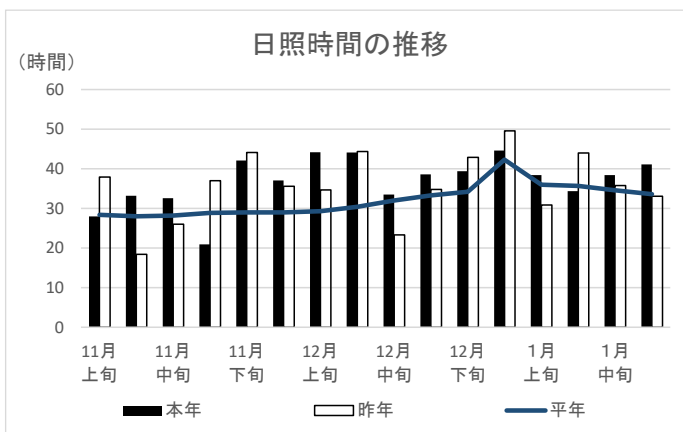
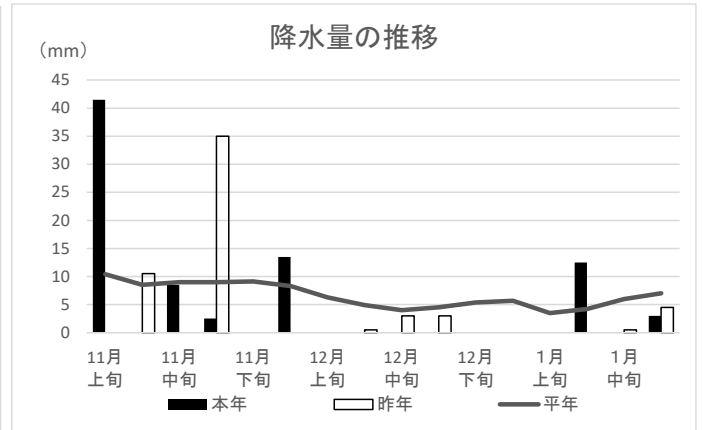
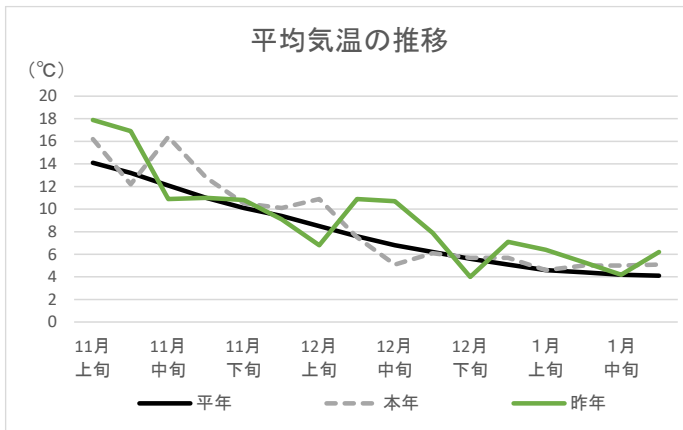
- ・寒気の影響を受けにくいいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例：  低い (少ない)  平年並  高い (多い)

(参考資料) 過去の平均気温、降水量、日照時間 (熊谷)



問い合わせ先  
 埼玉県病虫害防除所  
 〒360-0102 埼玉県熊谷市須賀広 784  
 電話：048-539-0661 FAX：048-539-0663  
 E-mail：k3603114@pref.saitama.lg.jp  
 http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0916/